

香川大学大学院地域マネジメント研究科  
**Working Paper Series**  
**ISSN1881-3216**  
**No.4**

**高松都市圏における産業の特徴：  
都市圏産業連関表の推計と地域経済循環の分析**

**高塚 創**

e-mail: takatsuka@gsm.kagawa-u.ac.jp

May 2007

Graduate School of Management  
Kagawa University  
2-1, Saiwai-cho, Takamatsu, Kagawa 760-8523, Japan  
<http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/>

## 要旨

本研究では、高松都市圏における産業の特徴を地域経済循環の観点から分析した。通常都市圏という地域単位では輸移出や輸移入に関するデータは存在しない。そこで都市圏内の企業に対し、独自に製品やサービスの販売先や購入先に関する調査を行い、そのデータを元に分析を行った（サーベイ・アプローチ）。また、必要に応じて既存統計による分析も行い（ノンサーベイ・アプローチ）、前者の分析を補完した。その結果、以下のことが明らかとなった。①高松都市圏において地域経済循環への直接的な貢献度が高い産業は、製造業としては、食料品、窯業・土石製品、石油・石炭製品、金属製品、非鉄金属の各産業、非製造業としては、商業、対事業所サービス、その他の公共サービス、金融・保険・不動産、農業、漁業の各産業であった。②ただし、製造業においては、本社であるか支社であるかに依存するところが大きいことも明らかになった。③また、影響力係数や感応度係数を算出することで、波及効果の強さを見たところ、高松都市圏は商業、対事業所サービスにおいて感応度係数が顕著に高いことが分かった。④都市圏レベルでは、地域間や時点間の比較ができないので県レベルのデータを代理で用いたところ、その水準は四国の他地域と比較しても傑出しており、特に1995年から2000年にかけて急激に高まっていることが分かった。